

島根原子力発電所第2号機 指摘事項に対する回答整理表(地震時荷重と事故時荷重との組合せ, 重大事故と地震の組合せ)

No.	指摘日	資料の該当箇所				コメント内容	回答日	回答	資料等への 反映箇所	備考
		ヒアリング 資料番号	図書種別, 目録番号	図書名称	該当頁					
1	2022/1/14	NS2-補-023-06	補足説明資料	重大事故等対処施設の耐震設計における重大事故と地震の組合せについて	P.64	一部のSA設備を考慮した場合のPRA評価について、考慮しているSA設備を明確に示して説明すること。	2022/5/16	PRA評価で考慮しているSA施設について、「3. 確率論的な考察」に記載しました。	NS2-補-023-06改01「重大事故等対処施設の耐震設計における重大事故と地震の組合せについて」P.64	
2	2022/1/14	NS2-補-023-06	補足説明資料	重大事故等対処施設の耐震設計における重大事故と地震の組合せについて	P.64	P.64の炉心損傷頻度とP.67の炉心損傷頻度について、考慮する事故シーケンスが異なることを明確にし、それぞれの位置付けを説明すること。	2022/5/16	余震、前震を考慮した炉心損傷頻度の評価において考慮する事故シーケンスが異なることについて、「2.1 Ss相当までの本震による全炉心損傷頻度の累積の算出結果」に記載しました。	NS2-補-023-06改01「重大事故等対処施設の耐震設計における重大事故と地震の組合せについて」P.68	
3	2022/1/14	NS2-補-023-06	補足説明資料	重大事故等対処施設の耐震設計における重大事故と地震の組合せについて	P.22	表5.2.2-3等に示す有効性評価結果とSA時に地震と組み合わせる条件の関係を明確にして説明すること。	2022/5/16	全般施設について、耐震評価に用いる圧力・温度条件は対象設備ごとに検討する旨を「5.2.1(5)まとめ」に記載しました。 原子炉格納容器バウンダリについて、耐震評価に用いる圧力・温度条件を「5.2.2(5)まとめ」に記載しました。 原子炉冷却材圧力バウンダリについて、耐震評価に用いる圧力・温度条件はDB条件とする旨を「5.2.3(5)まとめ」に記載しました。	NS2-補-023-06改01「重大事故等対処施設の耐震設計における重大事故と地震の組合せについて」P.17,27,28,34	
4	2022/1/14	NS2-補-023-05	補足説明資料	地震時荷重と事故時荷重との組合せについて	P.20	クラスMC容器の冷却材喪失事故後の地震と組み合わせる荷重条件について、必要に応じて記載を適正化して説明すること。	2022/5/16	クラスMC容器の冷却材喪失事故後の地震と組み合わせる荷重条件については、LOCA後10 ¹ 年後の原子炉格納容器内圧として大気圧相当を考慮していますが、「3.1.3 (3)」に記載のとおり、その他のケースに包絡されるため、評価を省略しています。	—	
5	2022/3/16	NS2-補-023-06	補足説明資料	重大事故等対処施設の耐震設計における重大事故と地震の組合せ	P.74	熱応力の扱いについて、終局状態において鉄筋コンクリート部材に熱応力を考慮しないことが分かるように説明すること。	今回回答	終局状態において熱応力を考慮しない扱いとしているのは鉄筋コンクリート構造物であることが分かるよう明記しました。	NS2-補-023-06改01「重大事故等対処施設の耐震設計における重大事故と地震の組合せについて」P.75	
6	2022/5/16	NS2-補-023-06改01	補足説明資料	重大事故等対処施設の耐震設計における重大事故と地震の組合せについて	P.64	DBの範囲を超えるシナリオを抽出している理由について説明すること。	後日回答			

島根原子力発電所第2号機 工認記載適正化箇所(地震時荷重と事故時荷重との組合せ, 重大事故と地震の組合せ)

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
1	NS2-補-023-05改01	地震時荷重と事故時荷重との組合せについて	P.1	本書に関連する工認添付書類を追記しました。	2022/5/10	
2	NS2-補-023-05改01	地震時荷重と事故時荷重との組合せについて	P.3	「基準地震動」を「基準地震動」に誤記を修正しました。	2022/5/10	
3	NS2-補-023-05改01	地震時荷重と事故時荷重との組合せについて	P.3	「,」を文中に追記しました。	2022/5/10	
4	NS2-補-023-05改01	地震時荷重と事故時荷重との組合せについて	P.14	図番号が付与されていなかったため、「図3.1-1」として図番号を付与しました。	2022/5/10	
5	NS2-補-023-05改01	地震時荷重と事故時荷重との組合せについて	P.14	PLが示す位置が分かるように、図3.1-1中に矢印を追加しました。	2022/5/10	
6	NS2-補-023-05改01	地震時荷重と事故時荷重との組合せについて	P.20	「P=-14kPa」の考え方が分かるように、注記を追加しました。併せて、注記の番号を修正しました。	2022/5/10	
7	NS2-補-023-06改01	重大事故等対処施設の耐震設計における重大事故と地震の組合せについて	P.1	本書に関連する工認添付書類を追記しました。	2022/5/10	
8	NS2-補-023-06改01	重大事故等対処施設の耐震設計における重大事故と地震の組合せについて	P.16	荷重組合せの検討の流れが分かるように、記載を適正化しました。	2022/5/10	
9	NS2-補-023-06改01	重大事故等対処施設の耐震設計における重大事故と地震の組合せについて	P.17	「5.2.1(4) 荷重組合せの検討」での検討結果を踏まえ、記載を適正化しました。	2022/5/10	
10	NS2-補-023-06改01	重大事故等対処施設の耐震設計における重大事故と地震の組合せについて	P.31	「原子炉圧力」を「原子炉冷却材圧力バウンダリにかかる圧力」に適正化しました。	2022/5/10	
11	NS2-補-023-06改01	重大事故等対処施設の耐震設計における重大事故と地震の組合せについて	P.32	表5.2.3-3の最高圧力が原子炉圧力と原子炉圧力容器底部圧力との差を考慮した値であることが分かるように注記を追加しました。	2022/5/10	
12	NS2-補-023-06改01	重大事故等対処施設の耐震設計における重大事故と地震の組合せについて	P.33	図5.2.3-3に原子炉圧力の最高値を追加しました。	2022/5/10	
13	NS2-補-023-06改01	重大事故等対処施設の耐震設計における重大事故と地震の組合せについて	P.64	本資料の炉心損傷頻度等について、地震PRAとの関係を記載しました。	2022/5/10	
14	NS2-補-023-06改01	重大事故等対処施設の耐震設計における重大事故と地震の組合せについて	P.69	余震、前震を考慮した炉心損傷頻度の算出結果について、本検討の目的を踏まえた結論を記載しました。	2022/5/10	
15	NS2-補-023-06改01	重大事故等対処施設の耐震設計における重大事故と地震の組合せについて	P.72	「本文5.2.1項(2)b.の分類」が「荷重状態の分類」であることが分かるように、記載を適正化しました。	2022/5/10	
16	NS2-補-023-06改01	重大事故等対処施設の耐震設計における重大事故と地震の組合せについて	P.78	「PRVバウンダリ」を「RPVバウンダリ」に誤記を修正しました。	2022/5/10	